

記載例

就学援助費申請書

令和6年 月 日

あて先 川根本町教育委員会

申請者 (保護者)	住所	川根本町 千頭1183-1
	氏名	〇〇 〇〇
	電話	〇〇〇-〇〇〇〇-2555

該当世帯の状況を記入ください。
(申請者)

給付の支給を受けたく、申請いたします。
給付に係る認定のために必要があるときは、私及び家族の収入簿等を見直し、承認することに同意します。

新学年欄は、これまでの中学1年は7年、中学2年は8年、中学3は9年と記載してください。

申請児童生徒	氏名	続柄	生年月日	年齢	学校名	新学年	年度の認定の有無
	〇〇 〇〇	子	H23.〇.〇	〇才	〇〇〇学園	7年	有
〇〇 〇〇	子	H25.〇.〇	〇才	〇〇〇学園	4年	有	
家族の状況	氏名	続柄	生年月日	年齢	勤務先	前年収入額	
	〇〇 〇〇	本人	S62.〇.〇	〇才	(株)〇〇〇	源泉徴収票を参照	
※ 前年収入額については、確認ができる書類(コピー可)を添付してください。							

該当する事由を選択ください。(申請者)

申請の理由	【該当する番号を○で囲んでください。】
	1 生活保護の廃止又は停止を受けた。(年 月 日に停止・廃止)
	2 町民税(市民税、村民税)が非課税又は減額若しくは免除を受けた。
	3 個人事業税又は固定資産税が減額又は免除を受けた。(税)
	4 国民年金の掛金が免除となった。
	5 国民健康保険税が減額又は免除若しくは徴収を猶予された。
	6 児童扶養手当を受給している。
	7 世帯更生資金又は生活福祉基金の貸付けを受けた。(社会福祉協議会等)
	8 長期療養、火災、交通事故等の不慮の災害により、経済的に困難である。
	9 失業、勤務先の倒産又は賃金不払等により、経済的に困っている。
10 その他特別な事情により著しく経済的に困っている。	

※ ここより下の欄については、申請者は記入しないでください。

<p>学校長の意見</p>	<p>【就学援助を必要と認める該当項目（該当項目すべてに○）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保護者の職業が不安定で生活状況が悪いと認められる。 2 生活状態が悪いため、学校納付金を減額又は免除している。 3 生活状態が悪く、学校納付金が滞りがちである。 4 昼食、被服等が著しく悪く、また学用品に不自由している。 5 経済的な理由により欠席日数が多い。 6 その他()
<p>民生児童委員の意見</p>	<p>民生児童委員氏名()</p>
<p>教育委員会の認否</p>	<p>令和 年 月 日（認定・否認定・取消）</p>
<p>摘要</p>	<p>支給開始日 (令和 年 月 日)</p>